

SMK型 扉(S・H)組立説明書

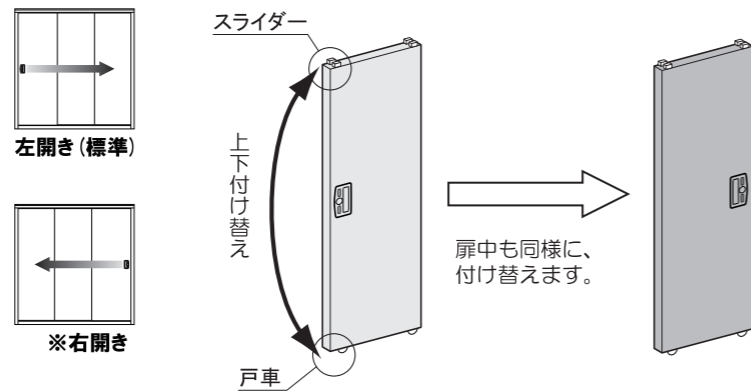
●梱包別部品一覧表

※()内はSタイプ用を示します。

梱包番号 B1-1166(1066)			梱包番号 B1-1067		
品番	部 品 名	数	品番	部 品 名	数
51	扉上パネルH(S)	1	33	正 面 パ ネ ル	1
56	扉 上 枠	1	34	扉 中	1
57	扉 下 枠	1	35	扉 前	1
54	扉 縦 枠 右	1			
55	扉 縦 枠 左	1			
75	入 口 枠 上	1			
76	入 口 枠 下	1			
73	入 口 枠 右	1			
74	入 口 枠 左	1			
	パネル押えMHC(MSD)	1			
	ジョイントカバーMHD(MSD)	1			
92	扉内壁MHD(MSD)	2			
	止メ金具	6			
	扉調節金具	4			
	φ4×25ネジ	8			
	ホールプレート	8			
	扉外れ止メ板	1			
	鍵穴パッキン	1			
	トラスタッピンネジ4×12	10			
	テクスネジ4×13	2			
	皿テクス4×35	4			

●扉を右から開けられる様にする方法

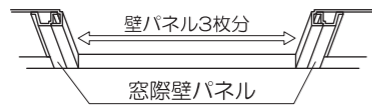
扉は標準(工場出荷時)では、左側から開けられる様になっています。この扉を右側から開けられる様にするには、まず、正面パネルを逆にして、左側に取付けます。そして(扉の戸車とスライダの締付けボルトをはずし、上下つけかえて)扉を天地逆にして取付けると右開きにすることができます。



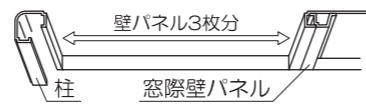
●取付上の注意

扉の横に壁パネルが入る場合は必ず(30)窓際壁パネルを使ってください。
※窓際壁パネルを1枚しか使わなかった時はもう1枚を標準の壁パネルと同様、他の場所に取付けてください。

●壁パネルと壁パネルの間に取付



●柱と壁パネルの間に取付



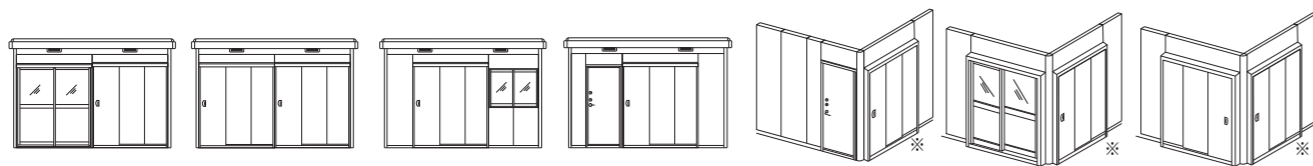
下図の様な場合、扉が取付きませんのでご注意ください。
(但し、間に窓際壁パネルかドア脇壁パネルを使用すれば取付けできます。)

✕掃き出し窓、扉の隣に扉の取付けはできません。

✕ドア入口枠と扉入口枠が当ります。

✕掃き出し入口枠と扉入口枠が当ります。

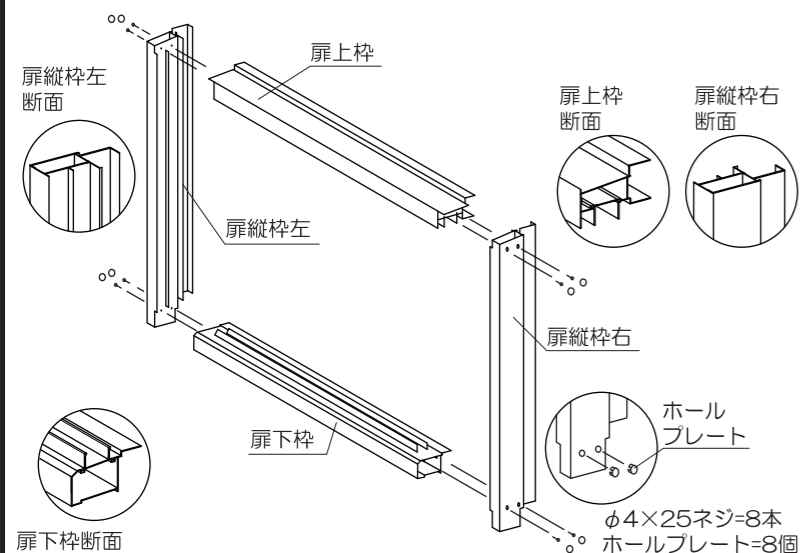
✕扉入口枠同士が当ります。



※図の扉を逆開きにすれば取付けできます。

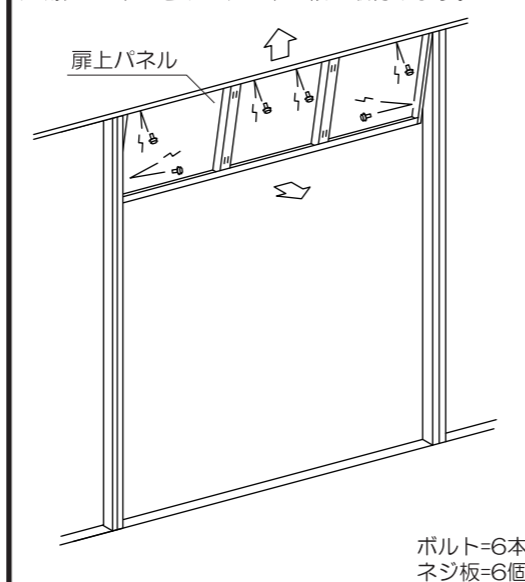
1.扉枠組立

(56)扉上枠、(57)扉下枠、(54)扉縦枠右、(55)扉縦枠左を組み、φ4×25ネジで締付けます。※枠組みネジ締付穴に、ホールプレート(8ヶ所)をはめ込んでください。



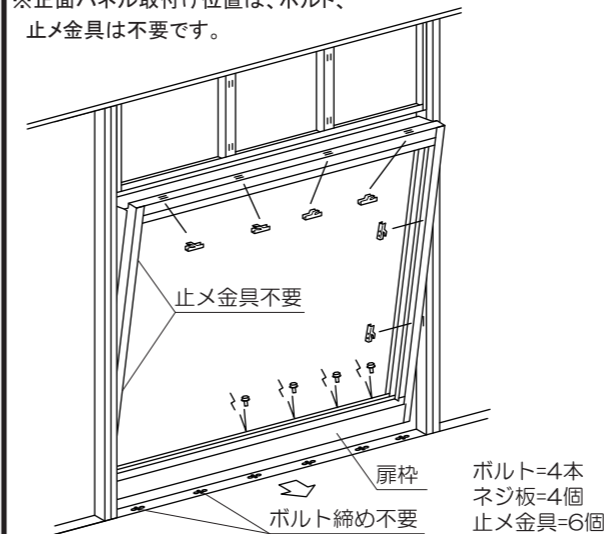
2.扉上パネル取付

(51)扉上パネルをボルトとネジ板で取付けます。



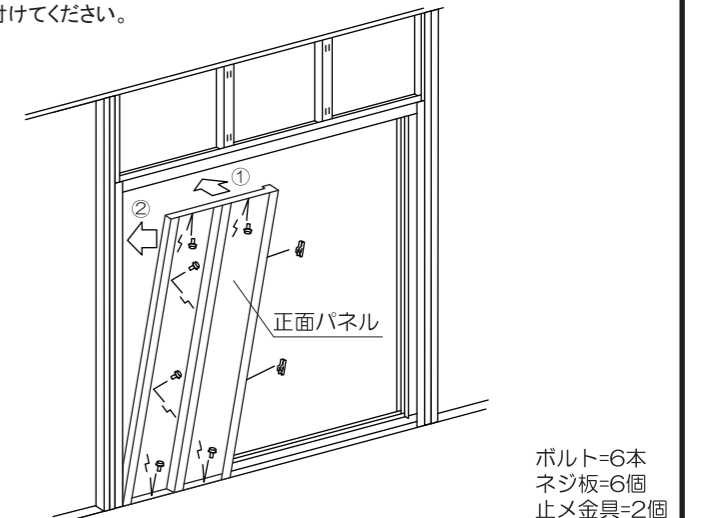
3.扉枠取付

扉枠をボルトとネジ板、止メ金具で取付けます。
※正面パネル取付け位置は、ボルト、止メ金具は不要です。



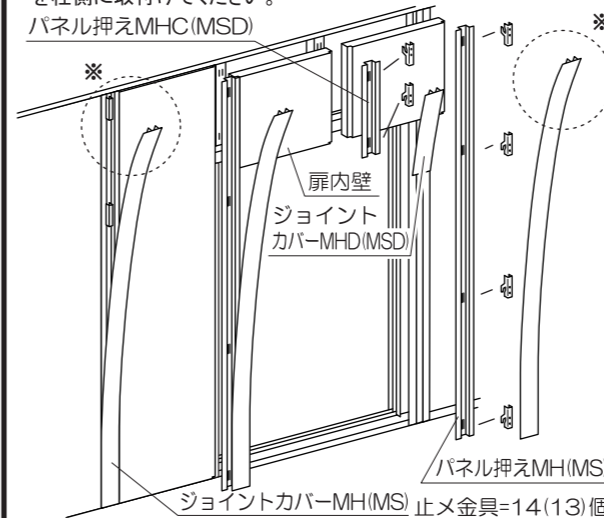
4.正面パネル取付

(33)正面パネルを扉枠に取付けます。
※正面パネルは矢印の手順ではめ込んだあと、手前に寄せてからボルトで締付けてください。



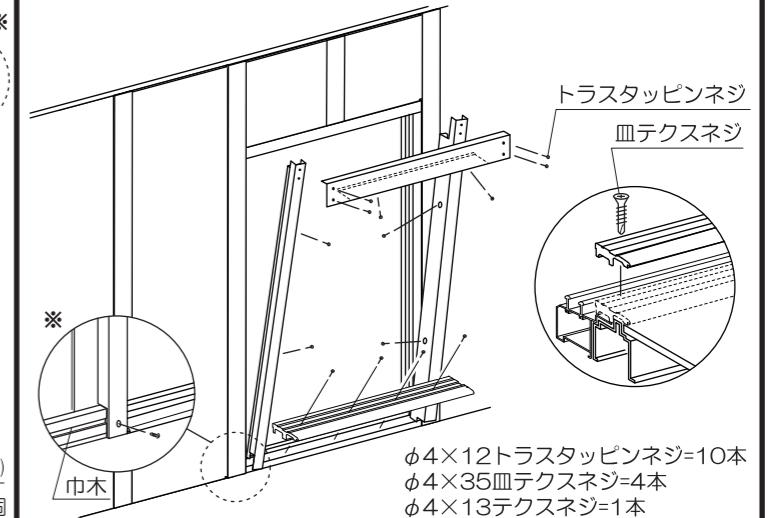
5.内壁、ジョイントカバー取付

(92)扉内壁MHD(MSD)、(87)内壁MH(MS)をパネル押えで固定します。次に、ジョイントカバーをパネル押えにはめ込みます。
※扉を柱と取付けた場合は、(50)コーナージョイントカバーMH(MS)を柱側に取付けてください。



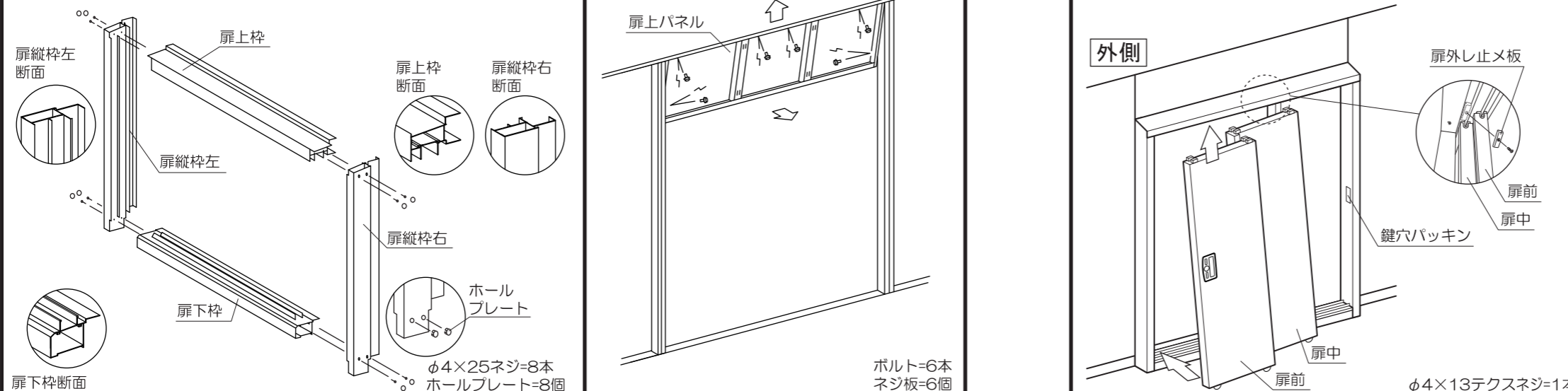
6.扉入口枠取付

(73)入口枠右、(74)入口枠左、(75)入口枠上、(76)入口枠下を取付けます。
※正面パネル側のみ入口枠と巾木をテクスネジで締付けてください。



7.扉取付

(34)扉中、(35)扉前を扉枠にはめ込み、扉外れ止メ板と、鍵穴パッキンを図の位置に取付けます。



8.扉調節方法

図イ、ロのような隙間はそれぞれA、Bに扉調節金具を入れてください。(図ハ参照)
※扉調節金具による調節は4mmまでで、それ以上の場合は基礎の水平を直してから上記の手順で調節してください。

